

令和4年度 教育事業

「若狭湾海冒険～海とつながろう～」【R4.8.18(木)～21(日)】

◆目的

- ・若狭湾の自然の中で生活することを通して、自然の大切さを理解する。
- ・生活する中で出てくる様々な課題の解決を通して変化や状況を受け入れる力を付ける。
- ・自然の中で、仲間と関わり合いながら生活することで自己の成長を図る。

◆参加実績（募集16名）

参加10名（男性5名 女性5名）

小学生 6名

中学生 4名

◆プログラム

<1日目>

午後

- ・シーカヤック操船練習（フローティングジャケットの付け方・漕ぎ方、乗り方の基本など）
- ・テント、タープ、寝袋使用練習



<2日目>

午前

- ・スノーケル道具合わせ、シーカヤックで無人浜へ移動、海遊び



午後

- ・タープ張り、スノーケル、釣り、海遊び、野外炊飯、・ファイヤーゲーム（語り場）



<3日目>

午前

- ・ビーチコーミング
- ・シーカヤックで自然の家へ移動（午後荒天予報の為）

午後

- ・釣り、スノーケル、野外炊飯



<4日目>

午前

- ・シーカヤック、海遊び、閉講式



◆成果

- ・アンケート結果より8割以上の参加者が事業に対して満足と回答していることから、自然の大切さを理解したことが伺えた。
- ・参加者アンケートでは「生きる力」「心理的社会的能力」「徳育的能力」が向上し、保護者アンケートでは「生きる力」「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」が向上したことから、目的に沿った活動内容だったと伺える。

◆参加者の声

- ・みんなで協力して過ごすことが大切だと思った。
- ・自然の中で遊んで、とても楽しかったし飛び込みは怖かったけど、勇気を出して飛び込んだ。
- ・自然の中で過ごすときは、しっかり天気を考えたい。

◆保護者アンケートより

- ・日本海の美しさ、素晴らしさにすっかり魅了されて、「若狭にいきたい」「シーカヤックに乗りたい」と事あるごとに言ってくる。
- ・野菜を切ってごはんを作ってくれた。
- ・学校の準備などすべて自分でやるようになった。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・外部指導員を委託し、活動内容の充実を図った。
- ・コロナウイルス対策として、使用物品は、消毒及び使い捨ての食器を使用し、飲料についても各自にペットボトルを用意するなど共有で使用しないように努めた。
- ・テント1張りの定員の半数で使用した。